

平成 30 年度農林水産情報交流ネットワーク事業情報交流モニター交流会の概要

北陸農政局では、農林水産情報ネットワーク事業の生産者（農業・林業・漁業）モニター、流通加工業者モニター、消費者モニター相互の情報交流及び農林水産省との人的ネットワークの構築を図ることを目的とし、平成 30 年 12 月 7 日（金曜日）金沢広坂合同庁舎 1 階大会議室において、「平成 30 年度農林水産情報交流ネットワーク事業情報交流モニター交流会」を開催しました。

開催日時及び場所

- ・ 日時：平成 30 年 12 月 7 日 金曜日 13 時 15 分～16 時 05 分
- ・ 場所：金沢広坂合同庁舎 1 階大会議室（金沢市広坂 2-2-60）

参加者

- ・ 外部講師 1 名 （狩女の会 主宰 長田 富士子）
- ・ モニター 27 名 （生産者モニター 10 名、流通加工業者モニター 3 名、消費者モニター 14 名）
- ・ 北陸農政局 10 名 （春日局次長ほか 9 名）

交流会のテーマ及び情報提供と講演題名

- ・ テーマ「鳥獣被害対策とジビエを利活用した地域振興について」
 - 1 鳥獣被害の現状と対策について
（説明者：農村振興部 農村環境課）
 - 2 鳥獣被害対策とジビエを利活用した地域振興について
（講演者：狩女の会 長田 富士子 主宰）

交流会の概要

局次長あいさつの概要

現在、中山間地域で大きな問題となっている鳥獣被害に関する対策と捕獲された野生鳥獣について、その多くが廃棄（埋設、焼却）処分となっていることから、ジビエとして利活用し地域の活性化につなげるよう取組を強化しているところであり、これらの活動内容を中心にジビエを利活用した地域の活性化に向けた取組と課題について意見交換を行っていくとのあいさつを行った。



あいさつを行う春日局次長

情報提供及び講演の概要

《情報提供》

北陸農政局農村振興部農村環境課

「鳥獣被害の現状と対策について」

北陸地域における鳥獣被害はおよそ5億円程度で推移している。その5割程度がイノシシの被害で、捕獲頭数は年々増加している。このため農水省では「鳥獣被害防止総合対策交付金」により、ジビエ利用拡大に向けた国産ジビエ認証制度やモデル地区の整備など取組を支援している。この取組が農山漁村の活性化につながるよう、取組を強化していくことが必要と説明した。



説明する農村環境課若山補佐

《講演》

狩女の会 長田 富士子 主宰

「鳥獣被害対策とジビエを利活用した地域振興について」

いろいろな職業を経験する中で捕獲された鳥獣の革を使った革細工を始めたことからジビエ利用を取り組むに至った経緯や取組内容、猟師の資格を取り、女性の狩猟団体である「狩女（かりじょ）の会」の活動や全国団体として色々な団体との連携状況、講演活動、石川県内の鳥獣被害の現状とジビエ解体施設の状況、ジビエ料理の普及活動等について自らの活動への思いとジビエ普及の今後の取組について講演された。



講演する長田主宰

意見交換会の概要

意見交換に入る前に、長田講師が用意してくださったイノシシ肉を使ったスープを試食しました。参加者の皆さんからは、思っていたよりあっさりしておいしい等の感想がだされ、好評でした。

意見交換では、生産者・消費者モニターの居住区での鳥獣被害、流通加工業者モニターではジビエを利用した事業への取組の可能性について以下のような意見や要望が出された。

生産者モニターからの意見

農業の現場では、鳥獣が年々増加しており被害が増えている。農業者もワナ等による捕獲が必要となっているが、資格試験があり、落ちてしまうことがある。要望として、もっと簡単に資格が取れるような制度としてもらいたい。

家の裏山にはイノシシが大量に生息している。このため処理施設を作って解体し販売している。国の補助金をもらっているが、わずかなので少しでも高くなるよう検討していただきたい。電気柵も積雪地帯では1年持たないので、リース期間の短縮をお願いする。いずれにせよ地域は地域の人間が守っていかなければならない。

流通加工業者モニターからの意見

ジビエ利活用に関しては、消費者の動向がキーです。当社ではまだ取組はないが、認知度が上がれば開発を進められるかなと考えている。

道の駅に出店しているレストランでジビエを取り扱っている。それなりに人気があるが、今後はジビエ業者とのパイプを太くし、安定的な原料の確保に努めていきたい。

農家レストランを経営している。主人と猟師でイノシシのワナを仕掛けているが、処理の問題からメニューとしては出していない。今後、取扱いを検討していきたい。



消費者モニターからの意見

住居が山奥なのでイノシシ、熊、サル、シカが出没する。行政サイド(町)から、鳥獣害対策のため木の伐採や電気柵の設置を求められたが、維持管理が負担になっている。なんとかしてくれと町に訴えているが、改善されなく困っている。

農政局の鳥獣被害のポスターをもらったので、自身の関係している団体の参加したフェスタでそのポスターを貼ったら、訪れた市民が関心を持ってくれたので、市にはその旨を伝えた。協力できることは積極的に取り組んでいきたい。

ジビエは初めて食べた。臭みもなく大変おいしかった。努力されてこの味になっているのかと思う。今後広まっていけばいいと考える。



—お問い合わせ先—

統計部統計企画課

代表:076-263-2161(内線 3623)

ダイヤルイン:076-232-4892

FAX:076-234-8332